

四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター 実践・研究プログラム

開催趣旨

新型コロナウイルスを含め災害が次々とおこる昨今において、被災者かつ支援者の離職・休職・慢性疾患の重度化は世界的な課題ともなっています。離職・休職・慢性疾患（悪性腫瘍・心疾患・脳血管疾患・糖尿病・精神疾患など）の重度化は災害後のうつ/PTSD(Post Traumatic Stress Disorder, 外傷後ストレス障害)によって促進されますが、仕事や生活を続ける被災者かつ支援者にとってどのような支援が必要なのかについてはまだ明らかではありません。

そこで本プログラムは、公益財団法人J R西日本あんしん社会財団の研究助成を受け、被災者かつ支援者のうつ/PTSD予防介入プログラムを実施し、被災者かつ支援者となる当事者および被災者兼支援者を支援する人々への介入技法をトレーニングし、トレーニングの評価を行う研究に着手することとしました。

被災者かつ支援者に関わる専門家自身のこころのケア並びに被災者かつ支援者への支援方法について集中的に学ぶ機会になればと考えています。

なおこのプログラムは研究プログラムの一部でもあるため参加者の皆様には研究にもご協力頂ければと思います。トレーニングにご参加いただき、うつ/PTSDのアセスメントと理解、介入技法について、トレーニング前後で質問紙による比較を行います（ただし個人や施設が特定されることはありません）。多くの皆様の参加をお待ちしています。

*このプログラムはオンラインでも行いますので、オンライン希望の方はお知らせください。

四天王寺大学看護学部
看護実践開発研究センター長
宇佐美しおり

目 標

災害（新型コロナウイルス対応も含む）の急性期・亜急性期・回復期・慢性期における被災者かつ支援者のうつ/PTSD予防介入が実践できる実践者育成プログラムを実施し、災害・精神看護に携わる看護師・看護管理者・保健師の人材育成を行います。そしてどのようなトレーニングが人材育成に貢献するのかについて明らかにします。

対 象 者

自然災害、人為災害、特殊災害、トラウマ、新型コロナウイルス等の災害後におこる被災者かつ支援者へのケアに携わる専門家(看護管理者、保健師、看護師、助産師、災害看護・精神看護専門看護師、認定看護師など)を対象とします。

実施内容

日時	内容
第1回 6月21日 (日) 9:30-16:30	<p>被災直後～急性期のケア①</p> <p>災害直後のトリアージと救急対応サポートグループの展開，災害後各時期に共通して必要なうつ/PTSD予防トリアージを理解します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害後1-2週間において，サイコロジカルファーストエイド（Psychological First Aid, PFA）と救急対応サポートグループが実施できるよう知識，態度に関する講義を行います。 2. その後事例検討・3分間メサッド・ロールプレイを気になる場面を取り出します。 3. 救急対応サポートグループに関する講義と体験・ロールプレイを実施し対象者が救急サポートグループが実施できるようにします。
第2回 7月19日 (日)	<p>被災直後～急性期のケア②</p> <p>災害によるストレスで脆弱になった自我をサポートしながらセルフケアを助ける支持的セルフケアプログラムを理解し事例を通じて展開できるようにしていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 支持的セルフケアプログラムに関する講義を行います。 支持的セルフケアプログラムと支持的集団精神療法は災害後災害によるトラウマ，恐怖感を減らし安全に自分の生活が営めるよう仕事の量を減らし生活を整えながらセルフケアを取り戻すことを可能にします。 2. 事例検討・3分間メサッド・ロールプレイを行い支持的セルフケアプログラムが展開できるようにしていきます。
第3回 10月18日 (日)	<p>災害後亜急性期のケア①</p> <p>災害後3週間から4か月までの間，物理的復興がなされる中で，疲労，うつ/PTSDがでてきますが，亜急性期におけるトリアージと支持的サポートグループを理解し展開できるようにしていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 支持的集団精神療法（Supportive Group Therapy）に関する講義と体験 支持的集団精神療法は，被災者支援者で仕事をしている人々への支援に役に立ちます。日常生活・仕事のルティーンが戻ってきたらばうつ・PTSD予防のために支持的集団精神療法を行います。対象者の選定方法・実施回数，グランドルールについての理解，グループメンバーが自由に発言し安全空間を確保できることを助けていきます。 2. さらにロールプレイを行いどう展開できるかを練習していきます。
第4回 11月15日 (日)	<p>災害後亜急性期のケア②</p> <p>災害3週間後から4か月まで物理的復興の中にてでくる疲労，うつ/PTSDに対するセルフケアプログラムを理解・実施でき自律的自我機能を促進しセルフケアの展開を支援します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セルフケアプログラムを展開する上での治療的援助関係の作り方，セルフケアプログラム（総合アセスメントやケース・フォーミュレーション，精神状態の程度に応じた関わり方や介入の組み立て）に関する講義を行います。 2. 事例をもとにセルフケアプログラムの展開方法を明確にします。 3. 3分間メソッドを用い患者役割—介入者役割でロールプレイを行います。
第5回 12月20日 (日)	<p>災害後回復期・慢性期のケア①</p> <p>回復期・慢性期におけるトリアージと力動的集団精神療法を理解し展開できるようにしていきます。</p> <p>地震と地震後の仕事，生活の変化に伴う疲労や苦しみ，悲しみに触れながら，グループを安全に話せる心的安全空間とし，自我の機能を起動させ，怒り・悲しみに触れながら怒り・悲しみを愛情に変え，また怒り，愛情のエネルギーを自分のエネルギーとして，意欲の低下，抑うつを見つめて認められるようにしていきます。そして自分のセルフケア上のニーズを改めて見直し，ニーズをもとに自分の仕事，生活，人との関係，生活の再構築を検討し，地震後おこっている意欲の低下，恐怖や不安などを克服しながら自分のセルフケア能力を高め，セルフケア行動を推進していきます。</p>
第6回 2月21日 (日)	<p>災害後回復期・慢性期のケア②</p> <p>災害11か月以降になるとセルフケアプログラムだけではうまくいかない人々が出てきます。災害後のうつ/PTSDを積極的に予防していくためPAS-SCT介入（PASセルフケアセラピー介入）を行い，物理的復興がすすみ仕事や家庭生活を再構築しながらも，自分の衝動や欲求をみつめどうしていきたいのかを積極的に模索しながら仕事の再構築も回りセルフケアできるよう支援していきます。災害後，回復期・慢性期にはうつやPTSDをもちながら生活・仕事をしているため日々のストレスも扱っていくPAS-SCT介入が必要になってきます。</p> <p>*PASセルフケアセラピー（Psycho-Analytic Systems Theory based Self-Care Therapy, PAS-SCT, 精神分析的システムズ理論を基盤としたセルフケアセラピー）とは，オレム-アンダーウッドのセルフケアプログラムをもとに，セルフケア上の課題が長期化・セルフケアが困難になっている対象者・家族・組織に対して自律的に衝動から行動までを意図的に展開できるようセルフケア能力を強化する介入技法です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PAS-SCTに関する講義を行います。 2. PAS-SCTを用いた支援方法を事例を通じて検討します。 3. 3分間メソッドを用いてロールプレイを行い実施できるようにしていきます。

講師

小谷 英文

PAS心理教育研究所理事長, 国際基督教大学名誉教授

宇佐美 しおり (ファシリテーター)

四天王寺大学看護学部教授・看護実践開発研究センター長・精神看護CNS

講師略歴

◆ 小谷 英文 (Ph.D. CGP GAP)

PAS心理教育研究所理事長, 国際力動的心理療学会理事長 (現職), 国際基督教大学名誉教授

【最終学歴】

広島大学大学院博士 (心理学)

【経歴】

- ・ 広島大学総合科学部助手
- ・ 文部省在外研究ニューヨークアデルファイ大学高等心理学研究所客員研究員 (Visiting Professor)
- ・ ニューヨーク大学Post-Graduate Medical School 集団心理療法訓練コース終了
- ・ 広島大学助教授
- ・ 国際基督教大学臨床心理学教授, 教育学科長, 大学院教育学研究科科長, 高等臨床心理学研究所所長

【主な活動】

- ・ 精神分析的な心理療法に実存心理学, システムズ理論および量子力学を加えて再構築した独自の精神分析的システムズ心理療法を体系化し, その教育, 訓練, 実践, 研究の普及に努めている。
- ・ 東日本大震災, 熊本地震以降のPTSD対策, 対応の実践指導と専門家養成, 技法の構成研究の展開
- ・ 精神分析的システムズ心理療法の適用, 応用の国際的普及; 国際学会の運営, 支援, 中国中山大学に新設臨床心理学部博士課程教授陣の指導, PAS-SCT学会の研修指導, 訓練テキストの出版
- ・ 医師, 臨床心理士, 看護師, そのほかトップリーダーのスーパーヴィジョン
- ・ 著書: 応答構成 ガイダンスとカウンセリング 集団心理療法の現在 ダイナミックコーチング ニューサイコセラピー
現代心理療法入門 不測の衝撃 育つ心と育てる心 カオスと混沌 心の安全空間 Creating Safe Space through Individual and Group Psychotherapy 精神分析的システムズ心理療法 PASセルフケアセラピー, 他多数

【専門領域】

精神分析的な心理療法, 集団精神療法, 精神分析的組織心理学, 心理療法訓練技法, スーパーヴィジョン
困難患者心理療法, 青年期臨床, トラウマセラピー, エグゼキューティヴセラピー・コンサルテーション

ファシリテーター

◆ 宇佐美 しおり (RN CNS Ph.D)

四天王寺大学看護学部教授, 看護学部看護実践開発研究センター長 (現在), 熊本大学名誉教授

【経歴】 日本CNS協議会元副代表・代表 (2010-2018), PASセルフケアセラピー (PAS-SCT) 看護学会理事長, 日本看護研究学会・日本精神保健看護学会理事

【主な活動】 オレム・アンダーウッズのセルフケアモデルをもとに精神疾患患者, 身体疾患で精神的に不安定な患者, ケア困難患者への看護介入技法, セルフケアモデルをさらに発展させたPASセルフケアセラピー (PAS-SCT) 看護学会を設立。ケア困難患者への看護介入技法に関する理論の開発, 実践, 研究を進めており, 同時にCNSの役割開発, 効果に関する研究, 慢性疾患患者の地域生活支援・災害支援における看護職の機能・役割, うつ/PTSD予防介入プログラム, 災害後のうつ/PTSD予防介入が実践できる災害人材育成に関する研究を行っている。

共同研究者・協力者

竹下 喜久子

日本赤十字社看護師同方会理事長, 日本赤十字九州国際看護大学元学長, 日本赤十字社元看護部長

亀井 縁

四天王寺大学看護学部 国際・災害看護学 准教授

参考文献

- 1) 「不測の衝撃, 最新 大災害メンタルヘルスガイド」
フレデリックJ. スタッツダート, クレイグ L. カッツ, ジョセフP. メリーノ, Hidden Impact, 2010,
小谷英文監訳 (2014), 金剛出版, 3,300円
- 2) 「精神分析的システムズ心理療法-人は変わる-」
小谷英文(2018), PAS心理教育研究所出版部, 3,565円
- 3) 「PASセルフケアセラピー」
小谷英文・宇佐美しおり(2018), PAS心理教育研究所出版部, 2,037円

*ほか随時紹介・適宜資料配布

参加費

無 料

各回定員20名(先着順)

申込・お問合せ

宇佐美しおり(四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター)

電 話: 072-959-2437

E-Mail: susami@shitennoji.ac.jp

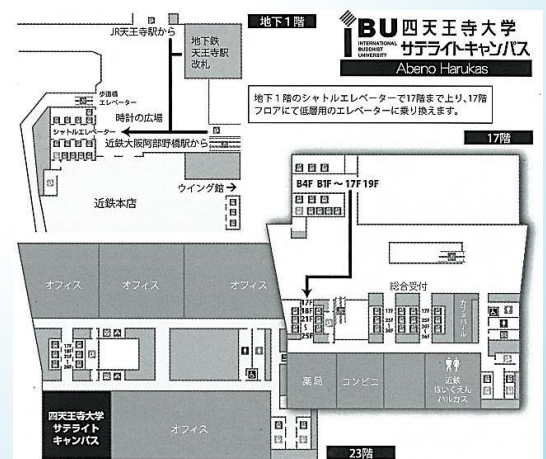
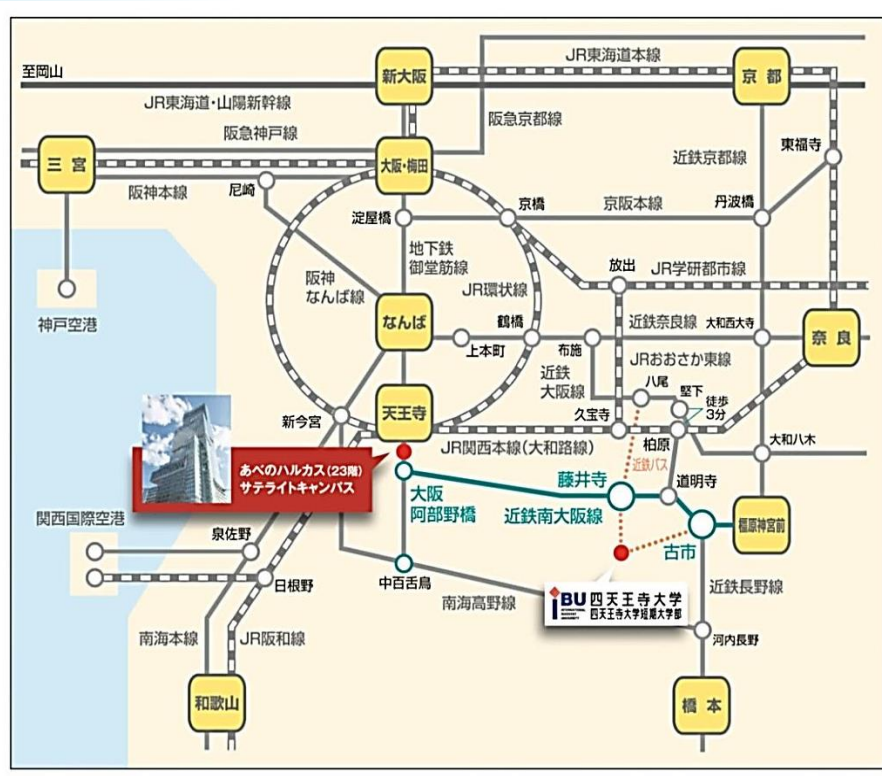
*できるだけメールでのお問い合わせをお願いいたします。

*オンラインでの受講を希望の方はお知らせください。

開催場所・アクセス

四天王寺大学あべのハルカスサテライトキャンパス

〒545-6023 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス23階



<最寄り駅>

- 近鉄「大阪阿部野橋」駅西改札
- JR「天王寺」駅中央改札
- Osaka Metro
御堂筋線「天王寺」駅西改札
谷町線「天王寺」駅南西/南東改札
- 阪堺上町線「天王寺駅前」駅